



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月4日

上場会社名 不二サッシ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5940 URL <https://www.fujisash.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 勉

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営管理部長 (氏名) 町田 仁

TEL 03-6867-0777

四半期報告書提出予定日 2022年8月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	20,237	10.5	1,523		1,353		1,371	
2022年3月期第1四半期	18,315		924		815		952	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,357百万円 ( %) 2022年3月期第1四半期 975百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	10.87	
2022年3月期第1四半期	7.55	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	81,015	16,581	20.2	129.91
2022年3月期	83,315	18,065	21.5	141.77

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 16,392百万円 2022年3月期 17,889百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		1.00	1.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	8.4	760	14.2	660	40.1	377		2.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	126,267,824 株	2022年3月期	126,267,824 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	79,416 株	2022年3月期	79,154 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	126,188,556 株	2022年3月期1Q	126,189,846 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループ（当社及び連結子会社）の業績は、主力とするビルサッシを中心とした建材事業分野においては、新設住宅着工戸数はマンションや戸建てで増加傾向にあるものの、持ち家では減少が続いており依然として先行き不透明な状況です。形材外販事業及び環境事業においては、原材料費および諸資材価格高騰などの影響を受けております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高202億3千7百万円（前年同四半期比10.5%増）、営業損失15億2千3百万円（前年同四半期は営業損失9億2千4百万円）、経常損失13億5千3百万円（前年同四半期は経常損失8億1千5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失13億7千1百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失9億5千2百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

前第2四半期連結会計期間より、従来「運送事業」としていた報告セグメントの名称を「物流事業」に変更しております。この変更は、セグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

#### 〔建材事業〕

建材事業においては、ビル新築事業のプロセス管理を徹底した営業強化などにより、売上高は136億7千万円（前年同四半期比11.3%増）と増収になりましたが、諸資材価格高騰などの影響を抑えきれずセグメント損失12億8千6百万円（前年同四半期はセグメント損失5億4千6百万円）と減益になりました。

#### 〔形材外販事業〕

形材外販事業においては、アルミ地金市況に連動した販売単価上昇などにより、売上高は53億9千9百万円（前年同四半期比12.6%増）、セグメント利益2千5百万円（前年同四半期はセグメント損失9千5百万円）と増収増益になりました。

#### 〔環境事業〕

環境事業においては、プラント部門の営業力強化を推進しておりますが、諸資材価格高騰などの影響を受け、売上高は4億9千5百万円（前年同四半期比27.6%減）、セグメント利益は2千1百万円（前年同四半期はセグメント利益3千2百万円）と減収減益になりました。

#### 〔物流事業〕

物流事業においては、燃料費高騰などの影響を受けましたが、形材販売の出荷量の増加などにより、売上高は6億7百万円（前年同四半期比24.7%増）、セグメント利益は7千8百万円（前年同四半期はセグメント利益6千7百万円）と増収増益になりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は468億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億4千1百万円減少いたしました。これは主に仕掛品が6億6千6百万円、原材料及び貯蔵品が4億9千3百万円、現金及び預金が2億7千1百万円増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が40億9千6百万円減少したことによるものであります。固定資産は341億3千万円となり、前連結会計年度末に比べ2億4千1百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1億3千2百万円、無形固定資産が1億6百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は810億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億9千9百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は388億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ9千9百万円減少いたしました。これは主に契約負債が14億1千5百万円増加し、支払手形及び買掛金が9億7千6百万円、短期借入金が6億3千6百万円減少したことによるものであります。固定負債は255億4千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億1千6百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が6億3千3百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は644億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億1千6百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は165億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億8千3百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が14億9千7百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は20.2%（前連結会計年度末は21.5%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることなどから、2022年5月12日の「2022年3月期決算短信」で公表しました予想数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,523	14,794
受取手形、売掛金及び契約資産	20,501	16,404
電子記録債権	6,257	5,837
商品及び製品	1,277	1,410
仕掛品	1,817	2,483
原材料及び貯蔵品	4,086	4,580
販売用不動産	297	297
その他	1,368	1,814
貸倒引当金	△701	△737
流動資産合計	49,426	46,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,389	39,544
減価償却累計額及び減損損失累計額	△32,168	△32,287
建物及び構築物(純額)	7,220	7,256
機械装置及び運搬具	38,290	38,540
減価償却累計額及び減損損失累計額	△35,754	△35,841
機械装置及び運搬具(純額)	2,535	2,699
土地	13,328	13,331
リース資産	2,370	2,374
減価償却累計額	△1,175	△1,237
リース資産(純額)	1,195	1,136
建設仮勘定	183	163
その他	11,621	11,713
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,709	△10,792
その他(純額)	912	921
有形固定資産合計	25,376	25,508
無形固定資産		
のれん	187	175
その他	363	481
無形固定資産合計	550	656
投資その他の資産		
投資有価証券	2,865	2,896
長期貸付金	301	302
繰延税金資産	3,292	3,275
その他	2,379	2,362
貸倒引当金	△877	△871
投資その他の資産合計	7,962	7,965
固定資産合計	33,888	34,130
資産合計	83,315	81,015

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,073	13,096
電子記録債務	6,200	6,184
短期借入金	13,286	12,650
1年内償還予定の社債	70	70
リース債務	244	237
未払法人税等	229	63
契約負債	1,757	3,173
工事損失引当金	288	306
その他	2,833	3,102
流動負債合計	38,984	38,885
固定負債		
社債	3,445	3,410
長期借入金	5,666	5,032
リース債務	1,082	1,025
繰延税金負債	30	29
再評価に係る繰延税金負債	409	409
退職給付に係る負債	15,060	15,069
資産除去債務	271	271
その他	300	300
固定負債合計	26,265	25,548
負債合計	65,250	64,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,709	1,709
資本剰余金	816	816
利益剰余金	13,694	12,197
自己株式	△9	△9
株主資本合計	16,210	14,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	861	872
土地再評価差額金	1,635	1,635
為替換算調整勘定	△458	△485
退職給付に係る調整累計額	△359	△342
その他の包括利益累計額合計	1,678	1,679
非支配株主持分	175	189
純資産合計	18,065	16,581
負債純資産合計	83,315	81,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	18,315	20,237
売上原価	16,053	18,572
売上総利益	2,262	1,665
販売費及び一般管理費	3,186	3,189
営業損失(△)	△924	△1,523
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	48	60
受取賃貸料	21	21
持分法による投資利益	39	6
電力販売収益	42	39
雇用調整助成金	26	13
為替差益	—	119
その他	35	29
営業外収益合計	219	294
営業外費用		
支払利息	58	61
電力販売費用	34	35
その他	16	27
営業外費用合計	110	123
経常損失(△)	△815	△1,353
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	—	31
特別利益合計	1	31
特別損失		
固定資産除却損	8	1
事業構造改善費用	58	—
特別損失合計	67	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△881	△1,323
法人税等	73	43
四半期純損失(△)	△954	△1,367
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	3
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△952	△1,371

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△954	△1,367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	10
為替換算調整勘定	0	△24
退職給付に係る調整額	47	17
持分法適用会社に対する持分相当額	1	6
その他の包括利益合計	△20	9
四半期包括利益	△975	△1,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△972	△1,370
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

1. 新型コロナウイルス感染症拡大及びロシアによるウクライナ侵攻の影響に伴う会計上の見積もりについて  
前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症拡大及びロシアによるウクライナ侵攻の影響による当社グループへの影響に関する仮定について重要な変更はありません。
2. グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用  
当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下、「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

## (セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	物流	計		
売上高							
カーテンウォール、サッシ、ドア、室内建具、エクステリア製品等	12,286	—	—	—	12,286	—	12,286
アルミ形材、アルミ精密加工品等	—	4,796	—	—	4,796	—	4,796
都市ゴミ焼却施設の飛灰処理設備プラントとそれに伴う薬剤販売、都市ゴミリサイクル施設の設計・製作・工事	—	—	684	—	684	—	684
建材、プラント等の輸送等	—	—	—	487	487	—	487
その他	—	—	—	—	—	6	6
顧客との契約から生じる収益	12,286	4,796	684	487	18,255	6	18,262
その他の収益	—	—	—	—	—	53	53
外部顧客に対する売上高	12,286	4,796	684	487	18,255	60	18,315
セグメント間の内部売上高又は振替高	211	1,253	—	578	2,043	—	2,043
計	12,498	6,050	684	1,065	20,298	60	20,359
セグメント利益又は損失(△)	△546	△95	32	67	△541	21	△519

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」等を含んでおります。

2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△541
「その他」の区分の利益	21
セグメント間取引消去	48
全社費用(注)	△452
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△924

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称の変更)

前第2四半期連結会計期間より、従来「運送事業」としていた報告セグメントの名称を「物流事業」に変更しております。この変更は、セグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	物流	計		
売上高							
カーテンウォール、サッシ、ドア、室内建具、エクステリア製品等	13,670	—	—	—	13,670	—	13,670
アルミ形材、アルミ精密加工品等	—	5,399	—	—	5,399	—	5,399
都市ゴミ焼却施設の飛灰処理設備プラントとそれに伴う薬剤販売、都市ゴミリサイクル施設の設計・製作・工事	—	—	495	—	495	—	495
建材、プラント等の輸送等	—	—	—	607	607	—	607
その他	—	—	—	—	—	5	5
顧客との契約から生じる収益	13,670	5,399	495	607	20,173	5	20,178
その他の収益	—	—	—	—	—	59	59
外部顧客に対する売上高	13,670	5,399	495	607	20,173	64	20,237
セグメント間の内部売上高又は振替高	267	1,942	—	624	2,835	—	2,835
計	13,938	7,342	495	1,232	23,008	64	23,073
セグメント利益又は損失(△)	△1,286	25	21	78	△1,160	36	△1,123

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」等を含んでおります。  
2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,160
「その他」の区分の利益	36
セグメント間取引消去	57
全社費用(注)	△457
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,523

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。